

低密度生息地域のニホンジカ生息状況と課題について

～センサーカメラによるモニタリング調査結果から～

福島森林管理署白河支署 業務グループ 主任森林整備官 内山 弘敬

1. 背景と目的

全国でニホンジカの個体数が増加しており、近隣の署においては高密度で生息している地域もある。白河支署管内(福島県中通り南部)はニホンジカの低密度生息地域であるが、管内西部においてニホンジカの生息が確認され、一部において被害が見られている。

こうしたことから、白河支署ではニホンジカの生息状況を確認するために令和元年度から令和4年度まで管内西部に重点を置き職員実行により管内にセンサーカメラを設置している。今回は、センサーカメラのデータを解析しその結果と現地の被害状況からニホンジカの対策の検討を行った。



2. 設置箇所

【天栄村大字田良尾(大平管内)】
設置期間: 令和元年度～令和4年度
設置台数: 4～5台

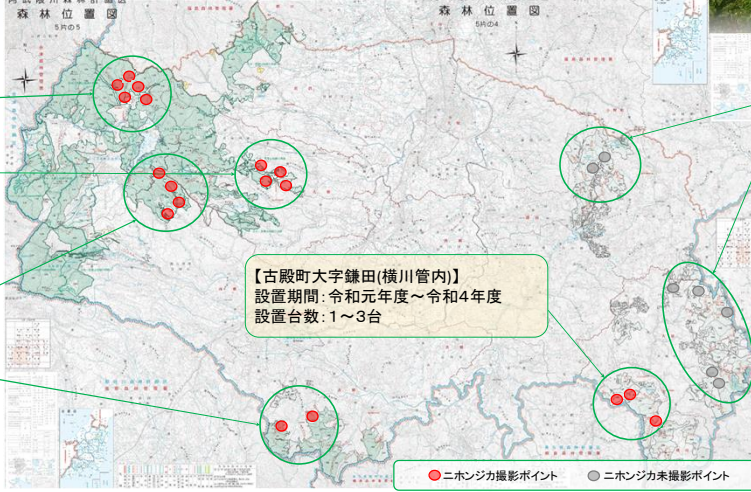
【天栄村大字大里(大屋管内)】
設置期間: 令和元年度
設置台数: 4台

【西郷村大字羽太(西郷管内)】
設置期間: 令和元年度～令和4年度
設置台数: 3～4台

【白河市旗巻(表郷管内)】
設置期間: 令和元年度～令和4年度
設置台数: 1～2台

【古殿町大字鎌田(横川管内)】
設置期間: 令和元年度～令和4年度
設置台数: 1～3台

【平田村・古殿町東部(蓬田・大原管内)】
設置期間: 令和4年度
設置台数: 7台



【カメラ設置条件】

- ① 植栽から5年までの箇所、ケモノ道、林道沿い等であり、いずれもデータ回収が容易な箇所。
- ② データ回収時期は1～3ヶ月程度。撮影回数が多い箇所については1ヶ月を目安。
- ③ 積雪の多い地域は冬期間一時撤去(11月中旬目安)。

3. 取りまとめ方法

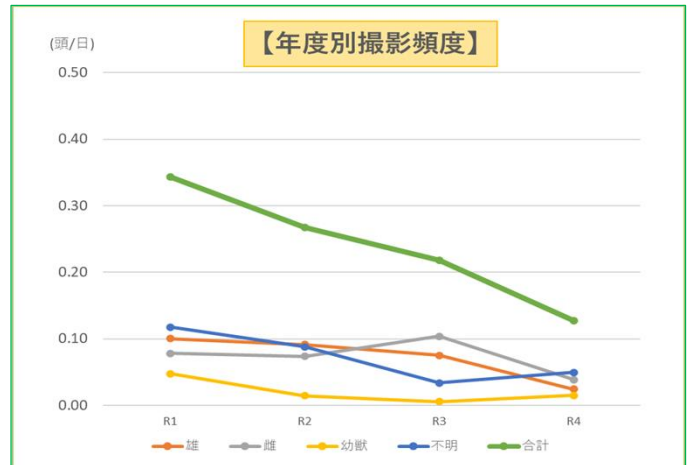
- 大屋管内については、令和元年度しかデータがないため集計から除外。
- 管内東部(平田村・古殿町東部)については、令和4年度からセンサーカメラを設置しているがニホンジカの生息は確認されていないため集計から除外。
- センサーカメラに撮影されたニホンジカの個体数を集計した。
- 同時刻帯に撮影された写真は同一の個体であると判断し重複しないよう集計。
- 角の有無、体格、毛皮の模様等により雄雌、成獣幼獣を識別し、判断できないものについては不明とし集計。
- 各事務所によりカメラの設置台数、設置期間が異なることから撮影頻度については、下記の計算式により指数を算出。
【計算式: 撮影頻度(指数) = ニホンジカの頭数 ÷ カメラのべ撮影日数】

4. 結果

- 雄雌ともに同程度の撮影頻度であるが、成獣に比べ幼獣の撮影頻度は低い。
- 撮影頻度から他の地域に比べ西郷村には雌の個体の撮影頻度が高い。
- 撮影頻度は年々減少している。
- ニホンジカの増加・地域拡大は認められない。

【年度別地域別撮影頭数及び個体識別撮影頻度】

年度	地域	管内	カメラ台数	撮影日数	撮影頭数					計	撮影頻度指数(頭/日)					
					雄	雌	不明	幼獣	年齢性別不明		雄	雌	幼獣	不明	全体	
R1	天栄村	大平	5	731	74	67	17	46	87	291	0.10	0.08	0.05	0.12	0.34	
		西郷村	4	1351	151	109	26	61	134	481						
		白河市	表郷	1	174	1	0	1	0	0						2
		古殿町	横川	1	1	0	0	0	0	0						0
R2	天栄村	大平	5	863	74	68	10	16	82	250	0.09	0.07	0.01	0.09	0.27	
		西郷村	4	1097	124	98	10	16	97	345						
		白河市	表郷	1	1	0	0	0	0	0						0
		古殿町	横川	3	60	8	0	0	0	0						8
R3	天栄村	大平	4	451	17	41	10	2	11	81	0.08	0.10	0.01	0.03	0.22	
		西郷村	4	1095	133	170	23	10	28	364						
		白河市	表郷	2	195	20	23	4	0	0						47
		古殿町	横川	1	1	0	0	0	0	0						0
R4	天栄村	大平	3	204	17	4	0	1	25	47	0.02	0.04	0.02	0.05	0.13	
		西郷村	3	943	36	83	81	33	6	239						
		白河市	表郷	2	333	2	0	0	0	0						2
		古殿町	横川	1	1	0	0	0	0	0						0



【ニホンジカによる剥皮状況】



【ニホンジカによる食害状況】

5. 今回のモニタリングに対する課題

- カメラの設置数、場所、期間等にムラがあることから撮影頻度指数に影響があるのではない。
- 夜間の撮影や単体での撮影が多く、雌・亜成獣・幼獣の個体識別が困難であり正しくデータ収集できているか疑問が残る。

6. ニホンジカの被害状況

- 天栄村及び西郷村の一部において、スギ・カラマツ幼樹木の剥皮、食害が確認されている。
- 部分的であり現状では補植・改植が必要な箇所はない。
- 下刈後、植栽木に新たな被害が確認された。植栽木周辺の雑草木がなくなったことにより植栽木に被害が出たものと推測される。

7. 管内のニホンジカ対策に向けて

- 雌の個体数増加がニホンジカ全体の頭数増加に繋がりが被害が拡大が懸念されるため、雌の個体数が多く確認されている西郷地域は特に注意が必要であることから今後、下刈省略による被害の差なども含めた調査を検討したい。
- 管内の西部地域では年々目撃情報、福島県内の農業被害が増加していることから、市町村と連携を図りつつ国有林においても状況に応じて新植箇所への忌避剤や罠の設置、猟友会との協定締結による駆除など対策の検討が必要であると思われる。
- 今後においては、ムラなくデータ収集ができるよう検討の上、センサーカメラの設置を継続し次の対策として低密度生息地域における有効な捕獲に向けて罠塩等による誘引試験を実施しその効果を検証することとしたい。